

## 最近の機械貿易動向(8月)～機械輸出の回復速度さらに鈍化～

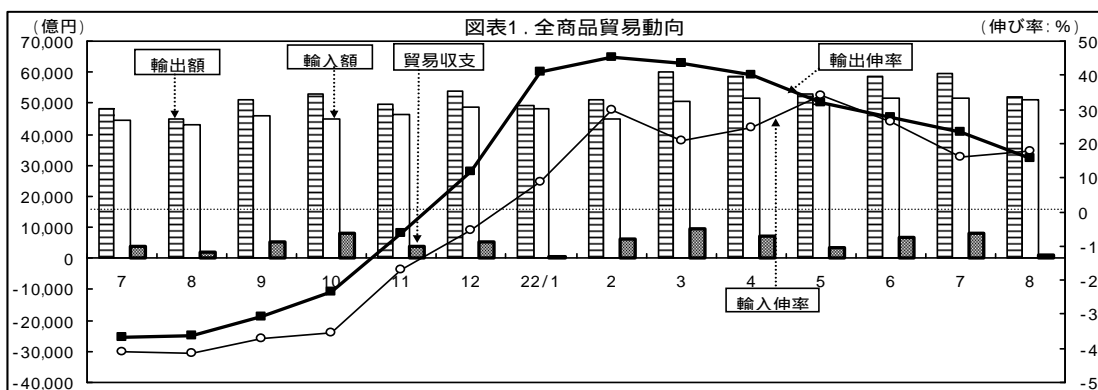
2010.10.18.

平成22年8月の機械輸出額は、3兆3,079億円、対前年同月比17.7%増と大幅に減速し、5カ月連続で伸び率が鈍化した。この輸出額は、リーマンショック以前の平成20年8月の73%の水準で回復速度も減速している。この要因は、米国向けを中心に機械輸出の1/3を占める自動車輸出の伸びが激減していること、米国、中国、NIES/ASEAN、その他地域向け輸出が急減していることによる。

9月の機械輸出は、実質伸び率を8月の19.2%増とすると、円高は高進したが、営業日が1日多いことから1.1%の減少要因となり、前年比18%増程度なるものと予想される。しかし、9月上中旬の全商品輸出額は6.1%増と伸び率はさらに低下している。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は15.5%増と6ヶ月連続で伸び率減少、輸入はやや持ち直し～

- 平成22年8月の全商品輸出額は5兆2,079億円、前年同月比(以下同じ)15.5%増と増加したものの6ヶ月連続で伸び率を低下させた(7月23.5%増)。商品別では、全輸出額の20%を占める一般機械(41.1%増)が高い伸びを示したが、14%の鉄鋼等原料別製品(20.1%増)、19%の輸送用機器(10.4%増)、19%の電気機器(6.2%増)とともに前月より伸び率を減じている。
- 輸入額は5兆1,219億円、18.4%増と前月をやや上回った。これは、全輸入額の28%を占める鉱物性燃料(15.8%増)、9%の鉄・非鉄金属等原料別製品(32.4%増)が僅かに伸び率を高めたため、8%の鉄鉱石等原料品(35.1%増)、3%の輸送用機器(21.9%増)は伸び率を低下させている。
- この結果、8月の貿易収支は、輸入の伸び率が輸出の伸び率をやや上回ったが、輸出額が輸入額より大きかったため、53.1%減の860億円の黒字となった。

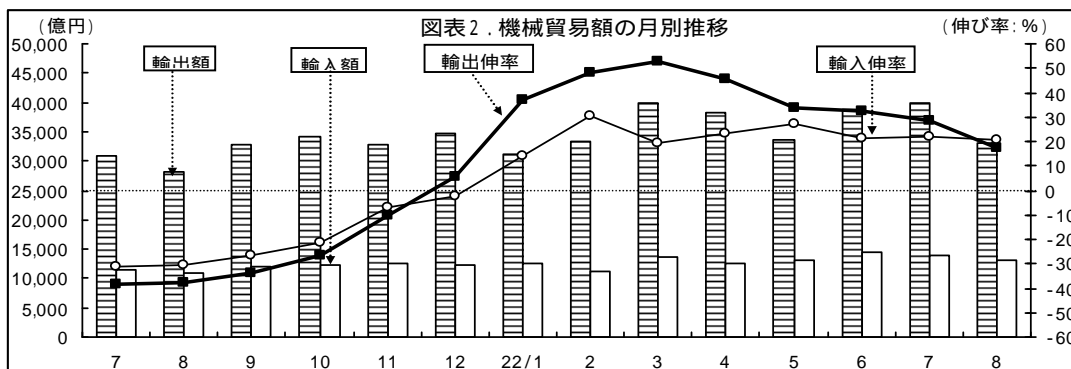


### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出17.7%増と5ヶ月連続で伸び率鈍化～

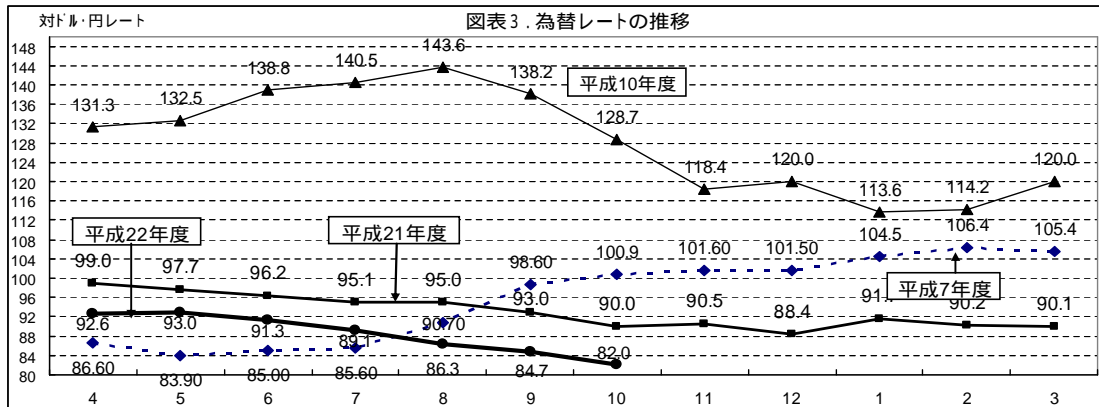
全商品輸出額の64%を占める8月の機械輸出額は3兆3,079億円、17.7%増と5ヶ月連続で伸び率を鈍化させた(7月28.4%増)。この輸出額は、リーマンショック以前の平成20年8月の輸出額に比べ73%(7月79%)と3ヶ月連続で回復速度が低下している。

一方、全商品輸入額の25%を占める機械輸入額は、1兆3,028億円、20.4%増とやや伸び率を低下させた(7月22%増)。輸入額は、一昨年に比べ84%と前月と同水準である(7月84%)。



(2) 為替動向・営業日～為替は8月は6.3%、9月は6.4%、10月は6%の減少要因～

- ・8月は1ドル = 86.3円と円高が進み、前年比9.2%の円高となった。対ユーロでも極端な円高状態が続き17%の大幅な円高となった。この結果、円建輸出額では6.3%の減少要因となる。営業日は前年より1日多く4.8%の増加要因となる。あわせて1.5%の減少要因となる。この結果、8月の機械輸出伸び率は17.7%増であったが、実質伸び率は19.2%増となり7月よりも大幅に減少した(7月37.6%増)。
- ・9月は1ドル = 84.7円と円高がさらに進み、前年比8.9%の円高となった。対ユーロでも極端な円高状態が続き19.1%の大幅な円高となった。この結果、円建輸出額では6.4%の減少要因となる。営業日は前年より1日多く5.3%の増加要因となる。あわせると1.1%の減少要因となる。10月は、対ドルが現状の82円(平成7年5月平均レートを超える過去最大の円高)とすれば8.9%の円高、対ユーロが現状の114円とすれば14%の円高となり、あわせて円建輸出額の6%の減少要因となる。一方、営業日は前年より1日少ないので、4.8%の減少要因となる。あわせて10.8%の大幅な減少要因となる。



(3) 地域別動向～米国向け大幅減少、中国、NIES/ASEAN、その他地域向け鈍化、EU やや回復～

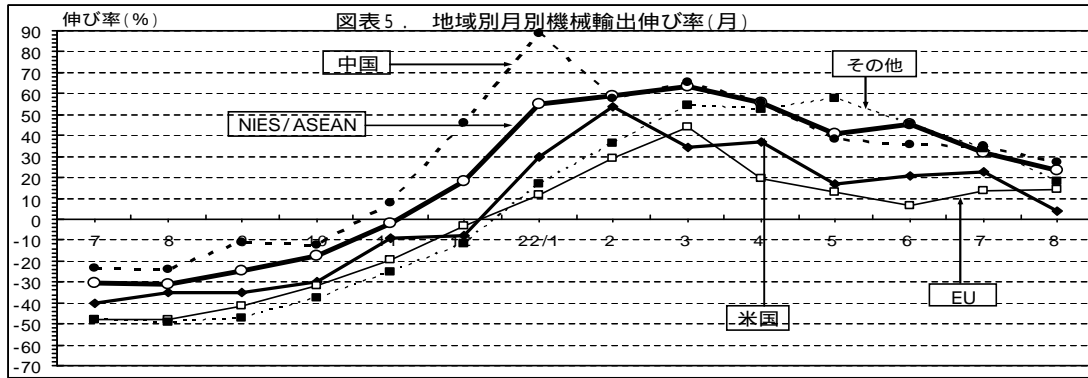
- ・8月は伸び率を大幅に低下したが、最も大きな伸びとなったのが機械輸出額の19%を占める中国向けで、半導体製造装置等産業機械、工作機械、建設機械、陸用内燃機関が大幅に伸びたが、自動車部品、通信機械等がマイナスとなり、27.2%増と前月を下回った。次に伸びたのが、30%と最大輸出地域のNIES/ASEAN向けで、輸出先では、インドネシア、台湾、韓国、タイ向けが、業種では産業機械、電子計測器、工作機械、建設機械が好調で、23.1%増となったが2ヶ月連続で鈍化した。その他地域向けで、ロシア・東欧(51.8%)、インド(25.6%増)、中近東(24.6%増)向け等が二桁増となり、機種でも31%を占める自動車(69.7%増)や建設機械(82%増)が好調で17.9%増の伸び率となったが、前月を大きく下回った。13%の欧州向けは、乗用車、デジカメなどが前年比マイナスとなったが、産業機械、自動車部品、光学機械、建設機械、船舶が伸び14.4%増と前月を僅かに上回った。19%の北米向けは、輸出額の35%を占める乗用車(10.6%減)、重電気機械(12.9%減)が大きく落ち込んだ他、電子計算機、デジカメ、分析・試験・検査機もマイナスとなり、4.0%増と大幅減となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2010/6			2010/7			2010/8			対08年 8月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	38,719	32.7	100	39,818	28.4	100	33,079	17.7	100	0.73
北米	7,845	21.0	20.3	8,138	22.7	20.4	6,219	4.0	18.8	0.73
EU	4,363	6.4	11.3	4,592	13.6	11.5	4,219	14.4	12.8	0.59
NIES/ASEAN	11,514	45.0	29.7	11,577	31.6	29.1	10,192	23.1	30.8	0.85
中国	6,825	35.8	17.6	7,254	35.2	18.2	6,376	27.2	19.3	0.97
その他	8,172	45.1	21.1	8,257	33.9	20.7	6,072	17.9	18.4	0.56

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2010/5		2010/6		2010/7		2010/8	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,677	29.0	2,054	44.4	2,021	31.9	2,044	36.6
台湾	1,964	58.8	2,139	47.2	2,156	44.3	1,966	41.4
香港	1,835	26.8	2,056	35.7	2,120	25.4	1,590	1.1
タイ	1,391	55.7	1,632	64.9	1,747	53.4	1,485	28.1
シンガポール	860	13.0	995	25.7	883	14.3	938	5.5
インドネシア	777	83.9	853	80.7	884	80.6	644	49.5
マレーシア	752	46.1	881	49.7	859	30.8	739	20.6
フィリピン	550	58.8	544	25.9	557	29.6	496	21.0
ベトナム	269	18.2	311	28.8	316	4.4	262	6.9
<b>その他地域</b>								
中南米	2,634	59.7	2,992	35.7	3,092	28.0	1,978	1.5
中近東	1,228	48.2	1,674	61.5	1,449	9.3	1,222	24.6
大洋州	1,157	59.7	1,261	60.7	1,187	35.7	886	16.5
ロシア東欧等	894	66.6	1,076	70.6	1,214	101.7	1,029	51.8
アフリカ	600	55.2	674	15.8	834	36.9	560	15.7
インド	353	55.1	439	61.0	435	38.7	336	25.6

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～全19業種中13業種が10%以上の伸び、自動車は6ヶ月連続大幅鈍化～

・業種別では、全19業種中15業種が前年比プラス、うち13業種が10%以上の伸びとなった。

全体の約1/3を占める自動車が16.6%増と6ヶ月連続で伸び率を鈍化させ、機械輸出伸び率鈍化の原因となった(7月25.1%増)。高い伸びとなったのが、建設機械、工作機械、繊維機械で2倍以上、約50%以上の増加となったのは陸用内燃機、産業車両の2機種にとどまった。

一方、通信機器(18.0%減)が5ヶ月連続で、電子計算機は2ヶ月連続でマイナスとなった。

・なお、世界経済不況以前の平成20年8月の輸出額と比較すると、2年前の水準を超えたのは繊維機械、医療機械のみであり、民生用電子機械、産業車両、電子計算機はまだ50%台の水準である。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

機種名	2010/6			2010/7			2010/8			対08/8比		
	金額	伸び率	シIP	機種名	金額	伸び率	シIP	機種名	金額		伸び率	シIP
自動車	12,537	38.9	32.4	自動車	12,177	25.1	30.6	自動車	9,671	16.6	29.2	0.67
産業機械	6,398	41.1	16.5	産業機械	7,106	49.7	17.8	産業機械	6,242	39.2	18.9	0.84
電子デバイス	3,645	18.6	9.4	電子デバイス	3,730	16.5	9.4	電子デバイス	3,511	11.6	10.6	0.80
民生用電子機械	2,088	15.8	5.4	民生用電子機械	2,091	7.0	5.1	民生用電子機械	1,879	2.3	5.7	0.58
軽電気機械	2,066	31.8	5.3	軽電気機械	2,274	30.6	5.7	軽電気機械	1,879	14.7	5.7	0.77
船舶	2,335	22.2	6.0	船舶	2,419	9.4	6.0	船舶	1,187	21.0	3.6	0.75
重電気機械	1,904	30.5	4.9	重電気機械	2,043	25.9	5.1	重電気機械	1,646	9.9	5.0	0.81
光学機械	1,274	36.9	3.3	光学機械	1,339	30.5	3.4	光学機械	1,227	15.6	3.7	0.92
軽機械	1,209	37.7	3.1	軽機械	1,294	30.9	3.2	軽機械	1,119	11.9	3.4	0.66
建設機械	1,057	112.8	2.7	建設機械	1,125	136.7	2.8	建設機械	951	105.5	2.9	0.67
電子計算機	653	16.6	1.7	電子計算機	577	4.7	1.4	電子計算機	503	11.5	1.5	0.50
通信機械	577	16.6	1.5	通信機械	547	20.5	1.4	通信機械	547	18.0	1.7	0.63
工作機械	539	127.0	1.4	工作機械	592	164.6	1.5	工作機械	607	148.6	1.8	0.80
ペアリング	372	62.3	1.0	ペアリング	384	59.2	1.0	ペアリング	309	42.5	0.9	0.88
陸用内燃機関	366	99.6	0.9	陸用内燃機関	383	105.3	1.0	陸用内燃機関	304	61.5	0.9	0.82
医療機械	323	3.0	0.8	医療機械	340	8.7	0.9	医療機械	298	3.9	0.9	1.20
繊維機械	196	92.1	0.5	繊維機械	189	92.4	0.5	繊維機械	199	109.6	0.6	1.23
農業機械	158	55.1	0.4	農業機械	163	41.2	0.4	農業機械	117	14.3	0.4	0.62
産業車両	122	90.1	0.3	産業車両	132	66.5	0.3	産業車両	111	69.9	0.3	0.52
20業種合計	37,819		97.7	20業種合計	38,905		97.7	20業種合計	32,307		97.7	0.73

は2ヶ月以上連続で10%以上増加、民生用電子機械:デジカ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品。

(5) 機種別動向～半導体等製造装置、産業用ロボット、工作機械、繊維機械等が2倍以上増～

・伸び率上位機種は、EU、中国、韓国・台湾等全世界向け半導体等製造装置(3.1倍)、ASEAN、EU、韓国・台湾等全世界向け産業用ロボット(2.7倍)、中国、ASEAN、北米向け等工作機械(2.5倍)、中国、その他地域、韓国・台湾向け等繊維機械(2.1倍)、北米、中国、EU、その他地域向け等建設機械(2.1倍)、その他地域、ASEAN向け等産業車両(1.7倍)、中国、EU向け等陸用内燃機関(61.5%増)、韓国・台湾、中国、その他地域向け等電気・電子計測機(58.2%増)、韓国・台湾、EU、北米向け等ベアリング(42.5%増)、中国、韓国・台湾、ASEAN向け等電子応用機器(37.3%増)などである。

一方、最も落込み幅が大きいのが、携帯電話(79.9%減)、発電機(56.2%減)、原動力機械(22.3%減)、据置型VTR(19.0%減)、エアコン(16.5%減)、ラジオ(13%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円、前年比伸び率、10機種以内) (単位:億円)

2010/6			2010/7			2010/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体等製造装置	1,283	159.3	産業用ロボット	92	220.0	半導体等製造装置	1,599	214.9
工作機械	539	127.0	半導体等製造装置	1,475	175.3	産業用ロボット	84	171.2
産業用ロボット	76	126.3	工作機械	592	164.6	工作機械	607	148.6
建設機械	1,057	112.8	建設機械	1,125	136.7	繊維機械	199	109.6
陸用内燃機関	366	99.6	電子応用機器	41	123.9	建設機械	951	105.5
繊維機械	196	92.1	陸用内燃機関	383	105.3	産業車両	111	69.9
産業車両	122	90.1	繊維機械	189	92.4	陸用内燃機関	304	61.5
電気・電子計測器	405	88.4	電気・電子計測器	459	83.5	電気・電子計測器	367	58.2
貨物自動車	789	88.1	産業車両	132	66.5	ベアリング	309	42.5
バルブ・コック	345	67.3	ベアリング	384	59.2	電子応用機器	38	37.3
機種合計	5,178	13.4%	機種合計	4,872	12.2%	機種合計	4,569	13.8%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2010/6			2010/7			2010/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
携帯電話	3	94.0	エアコン	9	82.2	携帯電話	3	79.9
エアコン	9	82.2	携帯電話	3	78.5	発電機	85	56.2
発電機	119	26.9	ラジオ	10	30.0	原動力機械	368	22.3
運搬機械	210	12.0	発電機	129	28.8	据置型VTR	11	19.0
			据置型VTR	9	24.7	エアコン	9	16.5
			TV	93	14.9	ラジオ	11	13.0
機種合計	341	0.9%	機種合計	253	0.6%	機種合計	487	1.5%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～8月は20.4%増で伸び率やや鈍化、TV、携帯電話は大幅な伸び続く

・8月の機械輸入額は20.4%増と伸び率はやや鈍化した。その要因は、乗用車が20%台の伸びであったものの伸び率を大きく落としたこと、二大輸入機種の一つ電子計算機が伸び率を低下させたこと、航空機、光学機械、民生用電子部品、医療機器の伸び率が鈍化したことによる。一方、TV、携帯電話は大幅な伸びが続いている。なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、TV、携帯電話、白物家電、医療機器、エアコン、ラジオ、時計となっている。

・地域別機械輸入額は、全体の39%と最大の輸入先の中国(34.8%増)、ASEAN(21.0%増)、韓国・台湾(17.7%増)、EU(7.3%増)、北米(0.9%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2010/6				2010/7				2010/8			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	1,881	11.4	13.1	電子デバイス	1,881	12.9	13.6	電子デバイス	1,939	18.4	14.9
電子計算機	1,845	35.6	12.8	電子計算機	1,606	19.2	11.6	電子計算機	1,460	16.9	11.2
重電気機械	674	20.8	4.7	自動車部品	662	34.2	4.8	重電気機械	620	14.9	4.8
自動車部品	641	43.8	4.5	重電気機械	633	14.5	4.6	自動車部品	612	32.6	4.7
白物家電	614	5.9	4.3	白物家電	574	16.5	4.1	乗用車	545	22.1	4.2
乗用車	503	53.5	3.5	乗用車	546	103.9	3.9	TV	501	112.1	3.8
携帯電話	483	65.0	3.4	TV	486	88.6	3.5	白物家電	436	24.7	3.3
TV	462	91.3	3.2	携帯電話	414	41.4	3.0	医療機器	405	4.0	3.1
医療機器	400	0.9	2.8	航空機	405	71.2	2.9	携帯電話	397	66.2	3.0
民生電子部品	371	24.4	2.6	医療機器	389	5.3	2.8	民生電子部品	338	6.7	2.6
航空機	370	6.5	2.6	民生電子部品	381	14.7	2.7	光学機械	318	4.6	2.4
光学機械	324	7.7	2.3	光学機械	322	17.8	2.3	航空機	244	24.4	1.9
12機種合計	8,568		65.5	12機種合計	8,299		59.9	12機種合計	7,815		60.0

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械